

肝斑(しみ)

患者様情報

来院されるまでの症状

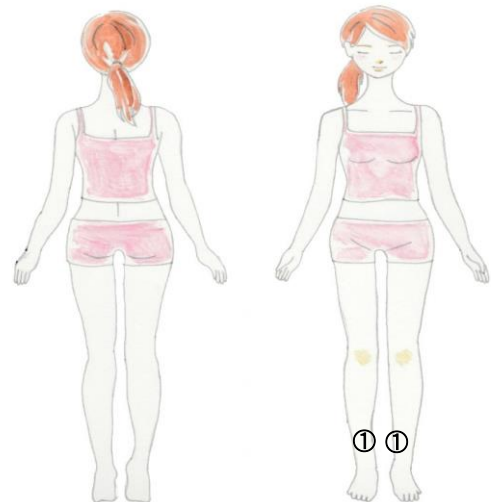
- ・週に一度続けて来院されている患者様です。
- ・毎日鏡を見る際に右の頬にシミが出来ていることに気づいたそうです。
- ・また胸の中心にイボもできており、服を着る際に引っかかってしまうのも気になるそうです。

患者様	60代女性
初診	2020年9月
既往症	起立性調節障害
他の症状	息切れ・腰痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・肝斑（しみ）には少し熱めの小さなお灸をすえてあげます。すえた箇所が活性化し、肌がターンオーバーされシミが薄くなるというメカニズムです。
- ・元々体質的にのぼせやすい方です。触ってみると首からは熱くほてっています。
- ・そのような方には最初から顔にお灸をすると、余計のぼせ症状がきつくなるので、まずは全身治療から行い身体のバランスを整えていきます。三陰交へのお灸ものぼせ症状対策になりますので温かく優しくすえました。
- ・調節後、シミとイボにお灸をしていきます。



■ 初診後の経過

- ・お灸をしてすぐにはシミもイボも、なくなることは難しいですが回数を重ねていくと、着実に少しずつ薄くなってきていました。
- ・患者様ご自身も薄くなったシミ、イボを毎回鏡で見る際に笑みがこぼれるとおっしゃっていただきました。(*^^*)
- ・のぼせ症状も次第に治まってきており、今は腰痛メインで治療させていただいています。

使用した主要なツボ

- ①三陰交（サンインコウ）
※シミ（肝斑）・イボの箇所にも施灸

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・コロナウイルスによりマスク生活が長く続いておりましたが、最近はマスクも解禁され外すことも増えてきました。
- ・マスクによる皮膚への摩擦がシミや肌荒れの一因にもなっていたと思われます。鍼とお灸で細胞を活性化、ターンオーバーを促していきましょう！
- ・鍼のみならず、お灸もとても万能ですね(*^^*)
- ・肝斑（シミ）、イボは性別問わず気になる方多いと思います。気になる箇所ございましたら、いつでもご相談ください！